



予算総額 194億8,052万円

一般会計	115億7,600万円
特別会計	72億9,714万円
企業会計	6億 738万円

- 市民の長年の願望である新体育館の建設推進
- 「環境都市かつやま」のアピール
- 安全で安心な暮らしと子育て支援日本一を目指す

今年度は、今後10年間の勝山の道筋を示す「第5次勝山市総合計画」実施期間の2年目です。
今年度の当初予算は、「市民力」と「地域力」の向上を目指し、計画の着実な実現に向けて重要施策を盛り込んだ、積極的な予算となっています。

一般会計は 平成17年度以降最大に
一般会計当初予算額は115億7,600万円で、前年度比1.9%の増（金額にして2億2,000万円の増）で、国の三位一体改革の影響を受けた平成17年度以降では最大額となりました。
各特別会計と上水道企業会計を含めた予算総額は、19億4,805万2千円で、前年度比0.8%の減（金額にして1億6,000万円の減）となりました。

市税収入が落ち込む
歳入予算は、固定資産税の落ち込みにより、市税全体で前年度比3.4%減の約28億9,900万円を見込んでいます。
また、地方交付税は前年度とほぼ同額の38億2,600万円、臨時財政対策債は4億7,750万円（前年度比2.3%減）を計上しました。
なお、市民負担を求めるものとして、水道料金は段階的引き上げの最終年となります。また、国民健康保険税、介護保険料についても改定され、引き上げとなります。
市税の減収による収支不足対応のため、3年ぶりに財政調整基金から約2億6,800万円を繰り入れます。

歳出予算の特徴
歳出予算では、市債の償還である公債費は約10億9,000万円（前年度比1.2%の減）、児童、障がい者、高齢者、生活保護者などの扶助費は、前年度とほぼ同額の約20億7,500万円を計上しています。
建設事業については、新体育館建設が本格化することから、単独事業で約7億3,400万円（前年度比94.1%増）を計上し、全体では約14億1,000万円（前年度比32.3%増）となりました。

平成24年度予算決まる

小さくてもキラリと光る
誇りと活力に満ちた
ふるさと勝山の実現